



*The*道修町倶楽部

道修町まちづくり協議会

まちづくり瓦版 第2号

2018年10月30日

道修町まちづくり協議会 通称:The 道修町倶楽部

事務局 541-8505 大阪府中央区道修町 3-2-10 田辺三菱製薬株式会社内

Tel:06-6205-5140 Fax:06-6205-5121

Eメール:the-dosyomachiclub-ml@ml.mt-pharma.co.jp

Web サイト:<https://doshomachi-club.org>

第2号の内容

はじめに

1 道修町通再生プロジェクト

- ①道路整備最新案
- ②デザイン・イメージ
- ③イメージ・パース
- ④地元負担設備と寄付金募集
- ⑤工事スケジュール
- ⑥大阪市との基本確認書の締結
- ⑦今後の課題とスケジュール

2 屋上ワイナリープロジェクト

3 ワーキンググループ活動

はじめに

The 道修町倶楽部では、今年の3月に「まちづくり瓦版第1号」を発行して、道修町のまちづくり計画案についてお知らせしました。

その後、道路整備案の見直しに向けた、大阪市との協議が進展するとともに、無電柱化に伴って設置が必要になる「地上機器（および地下柵）」の民地内設置に向けた試掘工事も、地権者さまのご承諾を得て順調に進んでいます。

このような経緯を踏まえて、10月30日に、大阪市と協議会との間で、道修町通沿道の「船場建築線内を活用した無電柱化と道路整備事業」についての「基本確認書」を締結し、大阪市と地元の官民連携体制をさらに強化して、魅力的なまちづくり、人に優しいまちづくりを進めていくことになりました。

今後、11月中に地元説明会を開催し、また、沿道地権者の皆様には個別にプロジェクトの詳細をご説明し、ご要望・ご意見をお伺いしたいと考えています。

本プロジェクトを実現するためには、道修町関係者の皆さまのご理解とご協力が必要になりますので、今後とも引き続き、よろしくお願い申し上げます。

1 道修町通再生プロジェクト

「くすりのまち道修町の歴史と未来が調和したまちなみを維持・発展させる」ことをコンセプトに掲げて、以下の1～3の3つの目的の実現に向けて、2020年度末を目標に、船場建築線内を活用した無電柱化と道路整備事業を進めていきます。

● 道修町通再生プロジェクト

- ・ くすりのまち道修町の歴史と未来が調和したまちなみを維持・発展させる

無電柱化事業

道路整備事業

〔船場建築線内を活用〕

1. 無電柱化を進め、景観向上と災害時リスクを低減する

2. 人に優しいフラットなみち、人の賑わいの舞台となるみちをつくる

3. 多様な歴史が共生する魅力あるまちなみを演出する

- ・ 対象地域：道修町通2丁目・3丁目沿道（1,4丁目は次の課題に）
- ・ 目標時期：2020年度末：プロジェクト完成（ベストシナリオ）

道修町景観づくり協定（対象地域：道修町1～4丁目全域）：2019年度以降検討

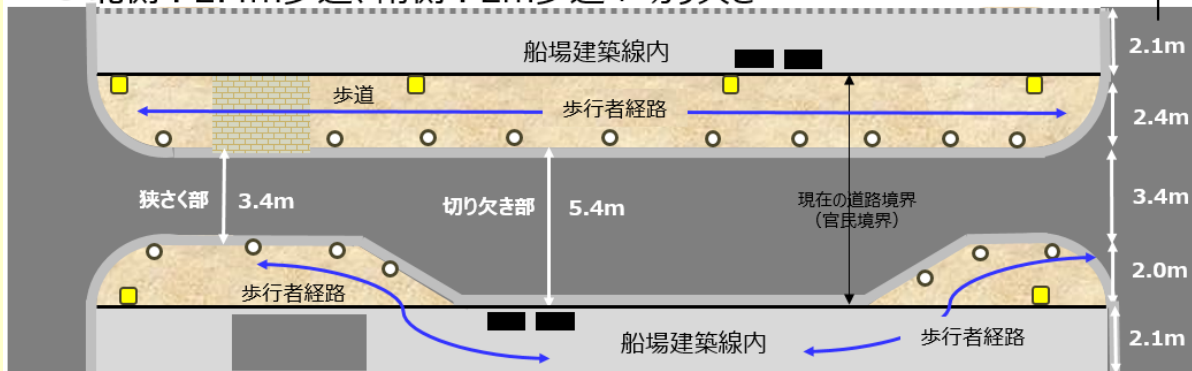
①道路整備最新案

今年の3月にご案内した道路整備案では、南側を路側帯として整備する案になっていましたが、車両の通行・停車数、歩行者数等を調査し、交通管理者である警察からの要請等を反映して、南側には、交差点部および連続する船場建築線からの末後退建物前に2.0mの歩道を設置する案に見直しました。

協議会としては、以下の案で進めていきたいと考えています。

■ 道路整備最新案

- 北側：2.4m歩道、南側：2m歩道＋切り欠き



- ・ 北側に、2.4mの歩道を設置する（北側の船場建築線内との段差は許容する）
- ・ 南側には、交差点部および連続する船場建築線からの末後退建物前に2.0mの歩道を設置し、船場建築線内を含む連続的な歩行空間を確保する
 - 南側歩道と船場建築線内との段差は擦り付ける（民地側も必要最低範囲で対応する）
 - 交差点部の車道幅3.4mを確保する（貨物車両の軌跡を考慮した道路幅を確保）
- ・ 交差点部以外は、切り欠きし、5.4mの車道幅を確保する
- ・ 歩車道間には、脱着式車止めを2.5m間隔で設置する
 - 歩車道間段差（2～3cm）は設けざるを得ないが、緩やかな勾配（テーパー）をめざす

※上記については、今後、関係機関と調整が必要

②デザイン・イメージ

■ デザイン・イメージ

くすりのまちの「みらいの参道」

～道修町の新しいかたち“カルチェ・メディカ”※をめざして～



「フラットなみち」で遊歩を促す

「灯籠の列」でまちなみを整える

「余白のしつらえ」で賑わいをさそう

※カルチェ・メディカ：道修町のみらいのデザインイメージを「カルチェ・メディカ」と表現しました。道修町通り再生を契機に、通り周辺が、メディカ：Medica（ラテン語；医薬、医療、健康）を起点とした多様な人々が集う、カルチェ：Quartier（フランス語；界隈、周辺地域）となるようお願いを込めました。

③イメージ・パース



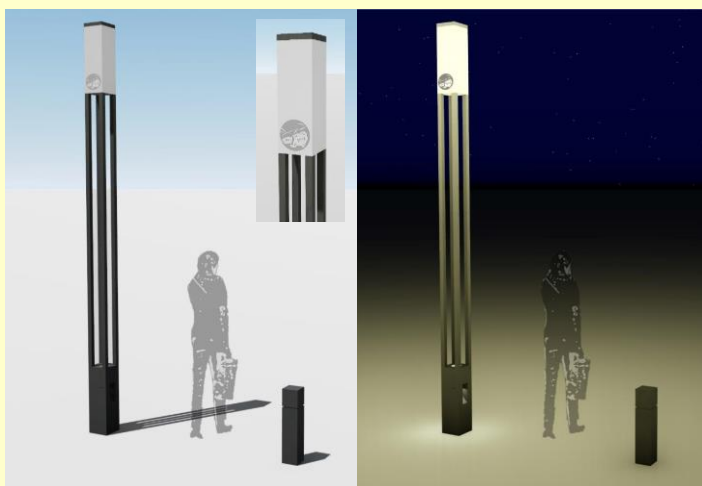
(注) 本修正案およびイメージは、2018 年 10 月時点での協議会案であり、今後の関係機関との協議や、地元関係者のご意見、コスト等によって変更になる可能性があります。

④グレードアップについて

上記のイメージ・パースは、照明灯と車止めを右のような仕様にグレードアップしたのになっています。

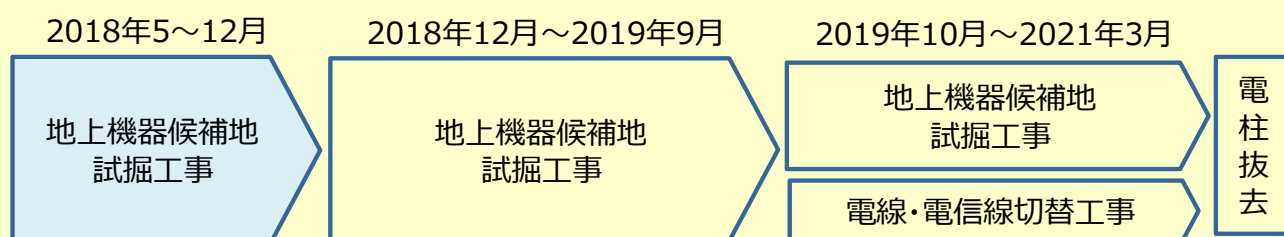
道修町で働く人、住む人、訪れる人が心地よさを感じられるまちにして価値を向上させるため、沿道企業を中心に広く道修町関係者から「寄付金」を募集し、寄付金で対応可能な範囲で、グレードアップを進めていきたいと考えています。

■ 照明灯・車止めのグレードアップ例



⑤工事スケジュール

※スケジュールはベストシナリオを前提に記載



⑤10/30 大阪市との基本確認書を締結

10月30日に、大阪市と協議会との間で、道修町通沿道の「船場建築線内を活用した無電柱化と道路整備事業」についての「基本確認書」を締結しました。

大阪市は、観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業（以下、「かんまち事業」）として、歴史的・文化的資産等を有するまちなみの再生・活性化や、新たなまちなみの個性を引き出すために、船場地区において無電柱化や周辺景観と調和した道路整備等に取り組んでいます。

当協議会の無電柱化と道路整備への取り組みは、元々「かんまち」事業の一環としてスタートしたものであり、地上機器20基すべてを民地内に設置するという、大阪市内でこれまでに例がない取り組みが注目されています。

⑦今後の課題とスケジュール

2018年度	〔2018年度〕 ● 地元説明の実施（11～12月） ● グレードアップ方針決定（1月） ● 沿道地権者歩道設置同意取得（1-2月） ● グレードアップ費用の寄付金募集
2019年度	〔2019年度〕 ● 大阪市と事業協定書とを締結 ● 大阪市へ地元負担分拠出
2020年度	〔2020年度〕 ● 無電柱化・道路整備工完了 ● 大阪市他との維持管理覚書締結 ★電柱抜去★

これまで、「地上機器（地下柵含む）」の船場建築線内への設置に関して、沿道地権者の皆さまには多大なるご協力をいただきましたが、本プロジェクト実現までには、いくつかの課題が残っています。

●「歩道設置についての同意書」取得が必要です

2丁目・3丁目沿道地権者さまには、具体的な図面等に基づいて詳しくご説明させていただき、ご意見・ご要望をお伺いさせていただきますので、よろしくお願いします。

●グレードアップと寄付金について

地元の皆さまのご意見をお伺いした上で、最終的なグレードアップの仕様と寄付金募集の方針を固めていきたいと考えています。

※スケジュールは協議会としてのベストシナリオを前提に記載

2 屋上ワイナリープロジェクト 3 ワーキンググループ活動



●**道修町屋上緑化ワインプロジェクト（旧名屋上ワイナリープロジェクト）**は、今年度試験的に3社にご参加いただき32鉢でスタートしました。ブドウの木の生育状況は順調です。屋上ブドウ栽培に興味がある1社が加わり、**屋上ワインワーキンググループ**を立ち上げ、各社で情報共有しながら活動しています。次年度の屋上ブドウ栽培については12月頃から参加募集を行う予定です。皆様の参加をお待ちしております。

●**イベント検討ワーキンググループ**を協議会会員の若手の皆さんで立ち上げる予定です。このワーキンググループでは若手の繋がりを形成しながら、道修町を元気にする新しいイベントを提案する予定です。現在13名の応募があり、11月にキックオフ予定です。

道修町まちづくり協議会の会員を募集しています！

- (1) 正会員：土地または建物を所有される方／対象区域内で事業を行っている方（会費）年額1口5,000円、1口以上
- (2) 個人会員：対象区域内で専ら居住を目的として居住されている方（会費）負担義務無し
- (3) 賛助会員：上記のいずれにも該当しない方で、本会の目的に賛同し、本会の活動の円滑な実施に協力しようとする個人、団体または企業（会費）年額1口10,000円、1口以上

道修町を未来に向けてさらに歴史と魅力あふれるまちへとつなげるため、わたしたちと共にまちづくり活動に参加・協力・支援いただける方は、事務局までご連絡下さい。